

屋根根

富良野GROUP公演2016冬

学童疎開進駐

作・演出 倉本 聰

倉本聰が描く 日本の家族史

視聴率

日本の家族史

2016年3月4日(金)～5日(土) 名古屋市芸術創造センター

【料金】 一般前売り・当日 5,000円(税込) *全席指定・未就学児入場不可

【一般前売り開始日】 2015年11月8日(日)

お問い合わせ 中日新聞コンサートデスク TEL:052-308-8282 (平日午前10時～午後6時。ただし11月8日は受付)

【主催】 中日新聞社、東海テレビ放送、東海ラジオ放送 【共催】 公益財団法人名古屋市文化振興事業団〔芸術創造センター〕
【協賛】 株式会社サンメディカル、鍋漬株式会社 【協力】 株式会社近畿日本ツーリスト北海道、公益財団法人北海道演劇財団
【企画制作】 フラノ・クリエイティブ・シンジケート (F.C.S.)



平成27年度文化庁 劇場・音楽堂等 活性化事業

富良野に初めて移り住んだ頃、僕は連日のように原野をさまよい、そこに残された廃屋を見て歩くのを日課にしていた。その殆んどはとっくに朽ち果てた、無残な過去の記憶だったのだが、その屋根を剥がし中を覗くと、そこには離農した家族の当夜の情景が必ずと云っていき程浮かび上がり、僕の心を強烈に射て来た。

貧困の中で生き、日本の農を支え、夫々が小さな倅せを包み、時代から捨てられたそれらの廃屋。

そうした廃屋の情景を元に、「北の国から」を僕は発想し、「悲別」を書きそしてこの「屋根」を創った。

廃屋は僕の富良野に於けるいわば創作の原点だった。

今朽ち果てた原野に眠る、埋もれた家族のささやかな喜怒哀楽。戦前・戦中・戦後そして今。時代に流されたそうした人々の暮らしの歴史を、屋根だけがじっと見つめて来たにちがいない。屋根は一体何を想ったか。

この芝居は朽ち果てた屋根を通して語る一つの鎮魂の詩である。



倉本 聰

1935年、東京都出身。脚本家・劇作家・演出家。

東京大学文学部美学科卒業後、1959年ニッポン放送入社。

1963年に退社後、脚本家として独立。1977年、富良野に移住。

1984年から役者やシナリオライターを養成する私塾「富良野塾」を主宰。

代表作に「北の国から」「前略おふくろ様」「昨日、悲別で」「ライスカレー」

「優しい時間」「風のガーデン」など多数。

作・演出 倉本 聰 音楽 倉田 信雄

出演 加藤 久雅 熊耳 慶 森上 千絵 納谷 真大 水津 聡 久保 隆徳 前有佳 有門 正太郎
東 誠一郎 久保 明子 杉吉 結 松本 りき 栗栖 綾濃 富 由美子 大山 茂樹 末広 透
金井 修 長谷川 奈緒美 町屋 圭祐 芳野 史明 黨 清信 三池 優 村田 純 松本 ふみか
竹原 圭一 能登屋 駿介 三須 杏奈 他

2016年3月4日(金) 19:00
5日(土) 12:30 / 17:30

名古屋市芸術創造センター
(名古屋市東区葵一丁目3番27号)

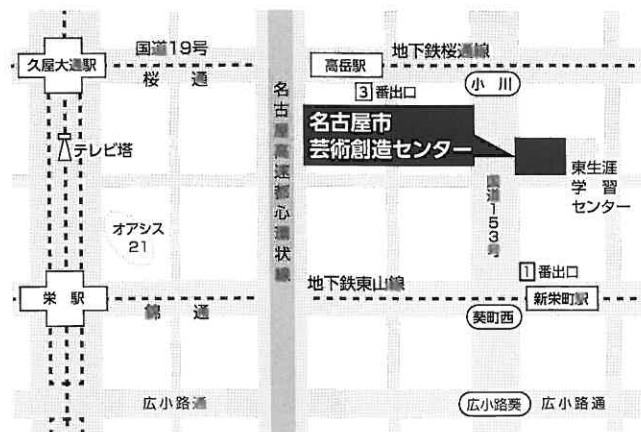
一般前売り開始日 2015年11月8日(日)

■ 発売所

中日新聞コンサートデスク TEL.052-308-8282
チケットぴあ http://t.pia.jp/
TEL.0570-02-9999 (Pコード: 447-285)
サークルK・サンクス
セブン-イレブン
全国のぴあ窓口にて
東海テレビオンラインチケット tokai-tv.com
名古屋市芸術創造センター TEL.052-931-1811
名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387

名古屋市内13文化小劇場(瑞穂を除く)ほか事業団管理施設

- 入場料(税込)
一般前売り・当日 5,000円(全席指定・未就学児入場不可)
- お問い合わせ
中日新聞コンサートデスク TEL.052-308-8282
(平日午前10時~午後6時。ただし11月8日は受付)
- 名古屋市芸術創造センター TEL.052-931-1811



● 地下鉄東山線「新栄町」下車 1番出口より北へ徒歩3分
● 地下鉄桜通線「高岳」下車 3番出口より東へ徒歩5分
● 駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。